

【重点分野－3】

2022年6月女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン
～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します～
集計報告

連合は、6月7日、8日に「女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します～」をテーマに全国の地方連合会において労働相談を実施した。連合は、男女雇用機会均等法の公布月である6月を「男女平等月間」と定め、連動した取り組みとして、2013年以降「男女平等」をテーマに全国一斉集中労働相談ホットラインを実施している。

取り組んだ集約結果を下記の通り報告する。なお、同時期に実施した連合本部でのLINE労働相談の集計結果については別途報告する。

I. 日 時：2022年6月7日(火)～8日(水)

II. 相談総件数：642件（うち女性481件）

III. 相談概況：

～全体の特徴～

1. 女性からの相談が7割超、50代からの相談が約3割

期間中に642件の労働相談が寄せられた。相談属性として、男女別では男性(24.8%)、女性(74.9%)と女性の相談が7割以上を占め、年代別では50代(29.9%)、40代(22.2%)、60代(15.5%)の順となった。

2. 正社員以外からの相談が6割超、「医療・福祉」がトップ

雇用形態別では、パートタイマー・契約社員・派遣など正社員以外からの相談が60.3%と、正社員からの相談数を大きく上回った。業種別では「医療・福祉」(25.4%)が最も多く、次いで「製造業」(14.2%)「サービス業」(13.0%)の順となった。

3. 相談内容は「差別等」、詳細内容では「パワハラ・嫌がらせ」がトップ

相談内容別では、差別等(29.6%)の相談が最も多く、次いで労働契約関係(12.1%)、賃金関係(10.1%)となった。詳細別相談内容は、「パワハラ・嫌がらせ」(26.6%)、「雇用契約・就業規則」(8.9%)、「解雇・退職強要・契約打ち切」(7.5%)の順となった。

具体的な相談内容としては、「事務長のパワハラが原因で多くの同僚が退職している。」「派遣会社の正社員求人に応募したが、明確な説明もなく8か月間にわたって派遣社員として派遣先企業に派遣させられている。」「セクハラに加害者と決めつけられ、雇い止めされた」などの相談が寄せられた。

集計報告
2022年6月女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン
～仕事で悩むあなたを応援(サポート)します～

		2022年			2022年(女性)		
集計対象期間		6月7日～6月8日			6月7日～6月8日		
受付件数 <small>(受付件数のみ報告分含)</small>		642			481		
報告(地方・本部)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 <small>(未報告除く)</small>	男性	159	24.8%	男性	0	0.0%	
	女性	481	74.9%	女性	481	100.0%	
	その他	2	0.3%	その他	0	0.0%	
年代 <small>(不明除く)</small>	10代	4	1.0%	10代	2	0.7%	
	20代	46	11.9%	20代	42	14.1%	
	30代	57	14.7%	30代	47	15.8%	
	40代	86	22.2%	40代	66	22.2%	
	50代	116	29.9%	50代	87	29.2%	
	60代	60	15.5%	60代	42	14.1%	
	70代	19	4.9%	70代	12	4.0%	
雇用形態 <small>(未報告除く)</small>	正社員	255	39.7%	正社員	176	36.6%	
	パートタイマー	172	26.8%	パートタイマー	153	31.8%	
	アルバイト	34	5.3%	アルバイト	30	6.2%	
	契約社員	42	6.5%	契約社員	25	5.2%	
	臨時・非常勤職員	8	1.3%	臨時・非常勤職員	6	1.3%	
	嘱託社員(再雇用含)	11	1.7%	嘱託社員(再雇用含)	6	1.3%	
	派遣社員	34	5.3%	派遣社員	29	6.0%	
	その他	86	13.4%	その他	56	11.6%	
業種(上位) <small>(不明除く)</small>	1位	医療、福祉	109	25.4%	医療、福祉	98	30.1%
	2位	製造業	61	14.2%	サービス業(他に分類されないもの)	44	13.5%
	3位	サービス業(他に分類されないもの)	56	13.0%	製造業	43	13.2%
	4位	卸売・小売業	42	9.8%	卸売・小売業	33	10.1%
	5位	教育、学習支援業	33	7.7%	教育、学習支援業	28	8.6%
【大項目】 相談内容 (上位) <small>(未報告除く)</small>	1位	差別等	190	29.6%	差別等	156	32.4%
	2位	労働契約関係	78	12.1%	労働契約関係	62	12.9%
	3位	賃金関係	65	10.1%	賃金関係	47	9.8%
	4位	労働時間関係	61	9.5%	雇用関係	47	9.8%
		雇用関係	61	9.5%	労働時間関係	38	7.9%
【詳細】 相談内容 (上位) <small>(未報告除く)</small>	1位	【差別等】パワハラ・嫌がらせ	171	26.6%	【差別等】パワハラ・嫌がらせ	140	29.1%
	2位	【労働契約関係】雇用契約・就業規則	57	8.9%	【労働契約関係】雇用契約・就業規則	43	8.9%
	3位	【雇用関係】解雇・退職強要・契約打ち	48	7.5%	【雇用関係】解雇・退職強要・契約打ち	37	7.7%
	4位	【労働時間関係】年次有給休暇	37	5.8%	【退職関係】退職手続	27	5.6%
	5位	【退職関係】退職手続	37	5.8%	【労働時間関係】年次有給休暇	24	5.0%
情報源・ルート <small>(不明除く)</small>	新聞・雑誌	34	6.0%	新聞・雑誌	20	4.7%	
	ラジオ・テレビ	170	30.1%	ラジオ・テレビ	138	32.4%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	19	3.4%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	13	3.1%	
	ホームページ	221	39.1%	ホームページ	167	39.2%	
	SNS(Facebook・Twitter)	17	3.0%	SNS(Facebook・Twitter)	14	3.3%	
	紹介	22	3.9%	紹介	12	2.8%	
	その他	82	14.5%	その他	62	14.6%	

～寄せられた相談～

【差別等（パワハラ・嫌がらせなど）】

○特別養護老人ホームで働いている。事務長は気に入らないことがあれば、罵声を上げてドアを叩く、暴れる、気に入らない部下を面会室に閉じ込めて説教するなど問題行動が多い。事務長のパワハラが原因で事務職員や施設スタッフが数人辞めている。どうしたらよいか。

（女性、50代、正社員、医療・介護、九州）

○身に覚えがないことで、パワハラ加害者と決めつけられている。会社の懲罰委員会で、説明・弁明の機会を与えられないまま、減給・配転・始末書の提出が言い渡された。どうにかならないか。

（女性、50代、正社員、製造業、関東）

【労働契約関係（雇用契約・就業規則など）】

○派遣会社の正社員求人に応募したが、8か月間にわたって派遣先企業に派遣させられ勤務。正社員での雇用契約を求めているが、明確な説明もなく毎月派遣として契約書が送られてくる状況。正社員希望のため転職を視野に入れているが、このままでは不安だ。

（女性、30代、派遣社員、サービス業、関西）

○産休からの復帰時に時短勤務を希望した際、工場長から「時短勤務中は現場へ配置換え」と口頭で命じられた。前例もあったので承諾して現場へ異動し、3月末に時短勤務を終了した際に、元の職種への異動を工場長に申し出ると「7月1日に元の職種に戻す」と口頭で告げられた。しかし、最近になって「異動には社長の辞令が不可欠」と言われ、異動が危ぶまれている。どうしたらよいか。

（女性、30代、正社員、製造業、関東）

【雇用関係（解雇・退職強要・契約打切、休業補償など）】

○派遣社員として新型コロナウイルス関連のコールセンターで働いていた。1ヶ月ごとの契約更新の条件で3月から働いており、6月以降の契約更新にも合意をしていたにもかかわらず、5月中旬にセクハラを理由に雇い止めとなった。具体的には数回会話した女性看護師のフルネームが偶然わかったことを本人に話したことが原因だそうで、自身はセクハラではないと思っているし、このことだけを理由に雇い止めとなることは納得がいかない。

（男性、60代、派遣社員、医療・福祉、関東）

○コンビニで勤務を始める際、「不適合者とみなした場合は辞めてもらう」という内容の書類にサインさせられた。1カ月経った頃、店長から「不適合者とみなしたので今日付で辞めてくれ」と言われ、その場で何も言えず辞めてしまった。それまで働いた分の賃金は支払われたが、店長から「仕事ができないから本当は払いたくない。返してもらいたい」とまで言われた。これは不当解雇ではないか。

（女性、アルバイト、その他サービス業、関東）

以上